

私たちは、命のつながりに思いを馳せる暮らしを提案し、心豊かな生き方のお手伝いをします。

創業 明治 44 年 命のつながりを想う

発行 有限会社 長門屋
編集：未来の種まき委員会
990-0042
山形市七日町 1-4-12
TEL 023-622-2204
FAX 023-622-2203
<http://oshironomise.com>
2025 年新春 第 42 号



あどつあま

“あどつあま”とは…

仏様をさす方言。米沢の方では住職様、僧侶をさすそうです。
宗教の知識を通してお役にたてれば嬉しいです。



長門屋

お城の店が目印です。

2024 年は こんなことがありました！

皆さまからのご厚情に、心より御礼申し上げます。

長門屋の五大ニュース！



1. デコボコ英語さんの仏壇レッスンにお呼ばれ

ご近所にある「デコボコ英語」さんのサマーコース「長門屋さんとの仏壇レッスン」にお呼ばれしました。15 人ほどの子供たちと一緒に、英語を交えて「仏壇のこと」や「ご先祖さま」や「お盆」について話し、「仏壇は日本人が大事にして受け継いできた、外国にはない誇らしい精神文化なんだよ。」と伝えることができました。

2. 山形新聞「連綿と」で長門屋が紹介されました

山形新聞の「連綿と やまがた旧家・名家探訪」のコーナーで、山形大学の歴史学（日本近現代史）がご専門の小幡圭祐先生が取材してください、「上・中・下」の 3 回にわたって長門屋を取り上げていただきました。そこには、創業以来、連綿と続いてきた長門屋にかかわる人たちの物語がありました。

3. 特別注文の屋久杉材の神棚（横幅 129cm）を納品

樹齢千年以上の貴重な「屋久杉」を惜しみなく使用した大きな神棚の注文をいただきました。世界文化遺産に登録されたため、ほとんど伐採されがなくなった貴重な材です。製作に約半年かかり、お盆前に無事納品出来ました。



4. 空き家問題とお仏壇についてトークセッション

今後増えていく空き家問題には「仏壇」がつきもの、と長門屋にもお呼びがかかりました。山形市職員、不動産会社、建築会社、仏壇店…と主催者側で集った面々が、単独でなく情報を共有し連携して動くことの重要性を強く感じたイベントでした。



5. 長門屋 Instagram はじめました

祈りのある暮らしを、もっと素敵に心豊かにする季節に合わせたご提案や体験講座のご案内をしています。
フォロー、どうぞよろしくお願いします。



自分で書いた 新年の抱負を込めた「私の一文字」



うごく
動

開運のポイントは、行動量を増やすことだと言われています。行動の質と量を上げるために、いろんなことに好奇心を持ち、遊び心を忘れずに過ごしていきたいです。

笹林陽子



じく
軸

土の時代から風の時代へ。
多様性と個性が尊重される時代。
その中で自分軸を忘れず良い一年を過ごせるようにしたいです。

國島潤一



ひろい
拡

広がるという意味でこの文字を選びました。新事業でもある仏壇リメイクも来店されるお客様も県外からご相談いただくケースが増えてまいりました。ご実家が山形で県外にお住いのお客様へも目を向けていく必要があります。

後藤久嗣



ふ
不

「不易流行」いつまでも変わらない本質的なもの（不易）と新しい変化や（流行）の両方を大切にするという俳諧の理念の一つです。仕事や生活に生かしていけたらと思います。

小瀧美樹



たのしむ
樂

いい意味で物事を楽観的にとらえ、どんな状況でも楽しく、楽に過ごせればと思います。

北條有希



こえる
越

2025年は社会人3年目の年です。1、2年目は、仕事のイロハを学んだ年でした。3年目は、今までの自分を越えてより良い仕事ができるように、高い目標を持ち進んでいきたいです。

白幡京香



わ
和

昭和から平成と過ぎて令和になった。
「和」とは、やわらぐ、やわらげる、ほどよく整っている。
穏やかである。仲の良い睦ましい。
かなり忍耐が必要と思うけど。

斎藤金五郎

2025

新しい挑戦や変化に対して前向きな姿勢で、
「実を結ぶ」1年になればと思います。
2025年も、どうぞよろしくお願ひいたします。

2024年10月より火曜日が定休日になりました。(お盆時期を除きます)